

OCCURS関数

指定された文字列が出現する回数を数値で返す

◇機能

検索対象において、指定された部分文字列が出現する回数を数値で返します。

◇構文

OCCURS(検索対象,検索文字列)

| | 引数 | 入力内容 |
|---|-------|---|
| 1 | 検索対象 | 検索対象となる文字型フィールドまたはリ文字のテラル値、式を指定します。 |
| 2 | 検索文字列 | 検索対象の中から出現回数を検出したい文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。 |

◇戻り値のデータ型

数値型

◇処理の例

| 例 | 式 | 戻り値 | 説明 |
|---|-----------------------|-----|---------------------------|
| 「商品No」フィールドの値が「30103003」のとき、「3」が出現する回数 | OCCURS([商品No],"3") | 3 | <u>3</u> 010 <u>3</u> 003 |
| 「商品No」フィールドの値が「30103003」のとき、「30」が出現する回数 | OCCURS([商品No],"30") | 2 | <u>3</u> 010 <u>3</u> 003 |
| 「商品No」フィールドの値が「30103003」のとき、「3000」が出現する回数 | OCCURS([商品No],"3000") | 0 | 出現しないためゼロを返します。 |